



WING

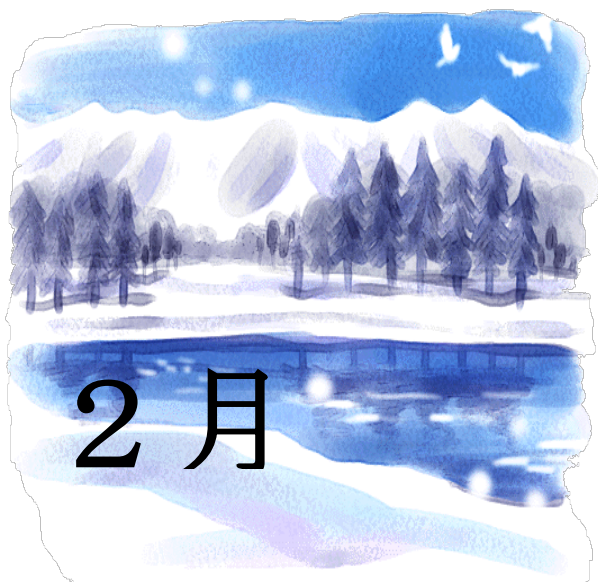
International Friendship "WING"

代表 和田 幸夫

TEL: 090-3497-2110

発行人 小原 千種

A はじめに



街角にいつも「大学」がある～くにたち教養マッピング～のチラシに目が留まり、仕掛け人が一橋大学の武村知子教授だと分かり 5 回のセミナーに参加することにした。要は大学には大学の、町には町の学問がありそれをマッピングして、重ね合わせて「くにたち文教地図」をつくることらしい。そんなことをやっていた翌日、会員の山根さんに面白いセミナーがあるからと誘われていたセミナーに参加したら何と今度は「ドリームマップ」セミナーだった。まさに今年最初のシンクロにびっくり。せっかくのシンクロだし皆さんに交じって 3 年後の夢（目標）の地図作りを始めるがなかなかアイデアが思い浮かばない。しかし、錆びついている想像や創造脳も

少しずつ動き始めると結構面白いし脳トレになると思った。出来上がったドリームマップを家に掛けて毎日見ていたら、今度は WING ドリームマップ作りを始めたくなった。皆さんも一緒に WING ドリームマップを作って我々の活動を楽しい夢あるものにしませんか。 (和田幸夫 記)

B 今月の国際理解講座

日時 2017年2月16日(第3木曜日) 18:30～20:30 国際交流会館1階ホール

演題 (1)「なぜ、私たちの国が親日国になったのか」

セルビア、ウズベキスタン、ポーランドの事例発表

(2)「日本とポーランドの友好の歴史」イベント報告

ポーランド大使館訪問、友好の歴史紹介

講師 (1) ヤイツチ・スロボダンさん (セルビア)

スルトノバ・ヒーローラさん (ウズベキスタン)

アレクサンドラ・ファルコフスカさん (ポーランド)

(2) イベント報告：和田貴博さん (WING 会員)

次回の国際理解講座

日時 2017年3月16日(第3木曜日) 18:30～20:30 国際交流会館1階ホール

演題 フランス・スイス短期海外調査報告

内容 リオン～ジュネーブ～ストラスブールなどの中近世に栄えた都市を主に紹介。

講師 一橋大学経済学部 GLP メンバー

関戸陽美さん、岡本尚樹さん、中森香音さん、宮田将季さん

(注) 3月は講座の前に今年度の総会を予定していますので18:00に参集願います。

C 報告事項

1月の異文化コミュニケーションは、韓国・仁荷（いんは）大学の李京柱（り・きょんじゅ）教授に「日韓の懸け橋となった人達」と題して日本と韓国との友好のために貢献した3名の日本人のエピソードを紹介して頂きました。

温なお人柄の教授がまず話されたことは、昨秋このCCホールで国際交流会館の創立25周年記念パーティーが盛大に催されたが、その第一期生として25年前に入寮し、友人たちとテニスに興じていた日々が懐かしいと話されていました。参加者にと持参下さった「韓日の懸け橋になった人達」の詳細なレジメのページを追いながら聞き入る講座は、まさに「目から鱗」でした。会員の杉本さんから感想文を寄稿して頂いていますので記載いたします。

李京柱 教授



(小原千種 記)

世界で初めてハングルの辞書を作った人は誰？ 韓国人より白磁を愛した人は誰？

日本人で韓国から勲章をもらった人は誰？ 今回の発表者の李京柱教授からの問いに、残念ながら私は一つも答えることができなかつた。最も近い隣国のことであるにもかかわらず知らない、ということが、現在韓国とギクシャクしている理由の一つかもしれない。

ちなみにそれぞれの答えは、雨森芳州、浅川伯教・巧兄弟、布施辰治。そのいずれの人たちも、初めから韓日の架け橋になろうとしていた訳ではなく、純粋に自分が正しいと思ったことを貫いた結果、到達したものだった。

それを一番よく表していると感じたのは、雨森芳州の「誠信の交わり」という外交思想。「互いに欺かず、争わず、真実をもって交わることこそ、まことの誠信である。」果たして、こんな先人の教えを今に活かしているだろうか。

また、韓国は反日教育をしていると言われるけれども、1998年以降に日本文化が開放されたことで間違いなく日本に関心を持つ人が増えたという。

「本当に日本に反感を持っていたら、年間400万人も日本に旅行に来ないでしょう？」という李先生の言葉こそ、真の姿であることを信じたい。

(杉本敬太郎 記)

D お知らせ

● 役員募集のご案内

1月のWING会報に役員募集の記事を掲載しましたところ、会計を引き受けて下さる方が決まりました。現在、監査役が未定でして再度のご協力をお願い致します。